

大学と保護者との連絡会

学生取材レポート 10月5日 土曜日 取材協力：東京都市大学 新聞会

「大学と保護者との連絡会」が、9月7日(土)の地方5都市を皮切りに、北は北海道から南は福岡県まで、全国20ヵ所の会場で開催され、多くの参加者にお越しいただきました。その最終日である10月5日(土)に行われた世田谷キャンパス、横浜キャンパス、等々力キャンパスの様子を、都市大新聞会の取材協力のもと、保護者の方々の感想も交えてご紹介します。



世田谷キャンパス

学部再編、学科名称変更によるインパクトをアピール

世田谷キャンパスでは、10時から知識工学部(2020年度より「情報工学部」に名称変更)の連絡会がはじまり、工学部は13時から機械工学科、機械システム工学科、原子力安全工学科、医用工学科の各学科が、13時45分から電気電子工学科、電気電子通信工学科、エネルギー化学科、建築学科、都市工学科の連絡会がそれぞれ行われました。

今年度より実施された「学部説明会」では、都市大が現在進める創立100周年(2029年度)を見据えた中長期計画「アクションプラン2030」の説明があった後、英国の高等教育専門誌Times Higher Educationが発表した「世界大学インパクトランキング」(世界の大学の社会貢献度合いを、国連が提唱するSDGsの枠組みを使って可視化する初のランキング)全11項目すべてでランクインしたことや、東京都市大学オーストラリアプログラムやカンタベリー大学との留学プログラムなど独自の留学制度をはじめとするグローバル人材育成が成果を上げていることが報告されました。

大上浩工学部長は「来年度から工学部を改編し、理工学部への名称変更と建築都市デザイン学部を新設。これによ

り、学部学科名から研究教育の方向性や全体像を想起しやすくし、併せて学部と大学院の接続関係をより一層明確にします」と話しました。

続いて各学科に分かれて「学科説明会」を実施。知能情報(経営システム)工学科では、森博彦准教授が、「19年度、時代の変化に合わせて『知能情報工学科』に学科名を改めました。これに伴い受験倍率がすべての入試において実質倍率10倍とはね上がりました」と紹介。また、電気電子通信工学科の岩尾徹准教授は、同じく19年4月、これまでの電気電子工学科を電気電子通信工学科に名称変更したことを紹介し、「学科の人気は大きく上がりました。なお、本学科は世田谷キャンパスのリニューアルに伴い、21年秋竣工予定の新棟に移転する予定です」と説明するなど、いずれもたゆまず進化し続ける都市大の姿を保護者の方々に力強くアピールしました。

その後、学年別の説明・懇談会、希望者に対する個人面談が行われました。



電気電子(電気電子通信)工学科説明会で学科の動向を説明する岩尾徹准教授



知能情報(経営システム)工学科では就職担当の穴田一講師がキャリア支援策を紹介

只今、取材中!

入部して半年以上経ちましたが、今でもインタビューは緊張します。つたない取材に、親身になって応じてくれた保護者の皆様、ありがとうございました。

環境創生学科 1年
藤田 開君



◆ 参加された保護者の方々の感想



機械工学科 3年
福地 源太君のお母さん

息子が大学の雰囲気を知る絶好の機会なので、これまでも参加しています。今回はとくに就職の動向などについて伺いたくてまいりました。



情報通信工学科 3年
井出 巧海君のお母さん

この連絡会には毎年伺っています。世田谷キャンパスはきれいで気に入っています。息子が3年生なので、最大の関心事は、やはり就職についてですね。



自然科学科 1年
横田 大樹君のお母さん

「大学と保護者との連絡会」を開催するとのお知らせをいただき、都市大がどんな大学か、自身の目で見て感じたいと思いました。落ち着いたキャンパスですね。

このキャンパスには何回か来たことがあります。都市部なのに自然が多くて、良い環境ですね。

都市工学科 1年

子どもからは「就職に強い大学」だと聞いています。先生方から説明を受け、改めて納得しました。

エネルギー化学科 1年

毎年来ていますが、今年で最後ですね。留学など国際人育成の話がいつもより充実していました。

建築学科 4年

都市大がどんな教育を行い、どんな人材を育てようとしているのか分かった気がします。

電気電子工学科 2年

取材にご協力いただきありがとうございました。